



11月号 令和5年10月25日 発行

# 四中だより

朝霞市立朝霞第四中学校  
埼玉県朝霞市栄町 5-1-60

TEL(048)466-4711

Fax(048)467-4744

目指す学校像

生き生きと学び、夢と希望を胸に、感動を実感できる学校

## 「選択される学校」

校長 稲泉 功

昨日10月24日は、二十四節気「霜降」で、朝晩の冷え込みが増す時期とされております。思えば大変暑かった9月が過ぎ、10月の声を聞いて一気に秋が訪れました。そのような中、新人体育大会地区大会では、お陰さまで県大会に進むことになった部活をはじめ、生徒たちは内容のある素晴らしい試合を展開してくれました。吹奏楽部は、東日本コンクールで甲府YCC県民文化ホールにて西関東代表として立派に演奏を届けてくれました。教職員ともども四中生の活躍を大いに喜んでおります。現在、学校では中間テストが終わり、今週末の合唱コンクールへ向けた学級の練習も佳境で、校舎には歌声が響きわたっています。一年生は初めての合唱コン。精いっぱい努力して各学年ともに成長を実感できる行事としてほしいと思っております。

さて、話は変わりますが、生徒にとって通いたくなる学校とはどのような学校なのでしょうか。設備が整っていて生活しやすい、授業が分かりやすくいつも丁寧に授業を進めてくれる、入りたい部活動が充実している、悩み事や話をいつでも気軽に聞いてくれる等々、様々です。それでは、本校は？みなさん、四中はどうでしょうか。

朝霞市では、中学校に入学する小学校6年生を対象に「中学校自由選択制」が導入され、早いもので18年目を迎えます。それ以前は、学区を基準としておりましたが、子ども自身が行きたい学校、保護者の方が行かせたい学校を自由に選択できるようになりました。今では浸透していますが、このことは、実は大きなことで、中学校側から見れば学校が選択される立場となっており、生徒や保護者の方から選択されるような学校となるために、一層努力しなければなりません。

それでは、生徒や保護者から「選択される学校」とは、どのような学校なのでしょうか。

とあるアンケート調査（小学校6年生の保護者対象）の結果では、①学力、授業の様子、②生徒の仲間関係、③先生の指導方針や指導力、④学校の運営方針、⑤部活動の順でした。ここ数年来、学校は保護者や地域の意志と願いを尊重し、ともに創っていく学校運営を展開していくことが、求められています。本校としましては、信頼される学校づくりこそが教育の本質であると捉え、「生き生きと学び、夢と希望を胸に、感動を実感できる学校」を目指す学校像として、これからも魅力ある学校づくりに努めてまいります。そのためにも、この学校公開週間には、ぜひご来校いただき、生徒たちを励ましていただきますとともに、アンケートも準備しておりますので、できましたら、学校改善に向けてのご意見等もお寄せいただきますよう、お願いいたします。



学びと充実の3日間  
修学旅行(9/26~9/28)では、学校で学んだことを、実際に触れる絶好の機会でした。(京都伏見稲荷)



素敵な作品展でした  
あさか美術部合同作品展では、日頃の活動の成果が作品に、表情豊かに表れていました。9/30・10/1



東日本吹奏楽コンクール  
県・西関東と勝ち進んだ四中吹奏楽部。10/7 東日本の経験は、確実に大きな力と自信となりました。